

会社情報 (2019年12月31日現在)

会社名	株式会社ソディック	資本金	207億8,525万6,958円
所在地	本社 〒224-8522 横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号 TEL:045-942-3111(代表)	代表者	古川 健一
設立	1976年8月3日	従業員数	841人(連結3,579人)
		連結子会社	21社
		持分法適用の関連会社	1社

役員 (2020年3月27日現在)

代表取締役会長	金子 雄二	社外取締役	工藤 和直*
代表取締役社長	古川 健一	社外取締役	野波 健蔵*
代表取締役副社長(上席執行役員)	高木 圭介	常勤監査役	保坂 昭夫
専務取締役(上席執行役員)	塚本 英樹	常勤監査役	渡貫 雄一
常務取締役(上席執行役員)	前島 裕史	社外監査役	下條 正浩*
取締役	ファン 錦華	社外監査役	ながしま たかし
社外取締役	古田 勝久*	社外監査役	おくやま 隆夫
社外取締役	稲崎 一郎*		

*東京証券取引所の定める独立役員であります。

ソディック ホームページ 「IR情報」のご案内

株主・投資家様向けの情報を
開示しています。是非ご覧ください。

<https://www.sodick.co.jp/ir/>

コーポレートサイト



IRサイト



Sodick



Sodick Times

2019年12月期(第44期)事業報告書
2019年1月1日～2019年12月31日



株式会社 ソディック
〒224-8522
横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号
TEL:045-942-3111

特集 シェア拡大をめざす欧州での取り組み

株式会社 ソディック
東証1部:6143



0.1 2019年12月期の業績と各事業での取り組みについて教えてください。

米中貿易摩擦の長期化等の影響により、放電加工機の販売台数が減少。売上高675億91百万円、営業利益34億22百万円となりました。

2019年12月期は、米中貿易摩擦の影響を受け、中国では輸出が減少するとともに、設備投資への慎重な姿勢が見られ、米国でも設備投資が減速しました。また、欧州でも製造業を中心に景気減速が継続しました。国内では海外経済の減速等を背景に景気に足踏み感が見られました。このような事業環境の中、当社グループは、長期経営計画「Next Stage 2026 ~Toward Further Growth~」を掲げ、ものづくりを通して持続可能な社会の実現にチャレンジしております。

当社グループの2019年12月期業績は、売上高675億91百万円、営業利益34億22百万円、経常利益35億58百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は20億2百万円となりました。

放電加工機の販売台数が減速する一方、下期は食品機械の需要が堅調に推移し売上高が伸長。

工作機械事業では、北米の航空宇宙及び医療機器関連は底堅い需要が継続した一方で、長引く米中貿易摩擦の影響等により、当社の最大市場である中国をはじめ全世界的に、自動車やスマートフォン、電子部品など幅広い産業で設備投資を先送りする傾向が強く見られました。その結果、放電加工機の販売台数が大幅に減少し、利益面においても生産台数の減少に伴う工場の収益性低下や固定費の増加等により前年比で大幅に減少しました。

産業機械事業では、米中貿易摩擦による国内外の設備投資の先送りの傾向が見られたほか、スマートフォン及び電子部品関連の需要は日本、中国及びアジア地域で依然として一服感が見られました。一方で足元では国内の自動車関連の需要や、光学レンズの成形、5G対応に向けたインフラ整備に関する需要が出始めました。

食品機械事業では、高品質な調理麺の製造設備や、無菌包装米飯製造装置の需要が増加したほか、衛生面や省人化を目的とした自動化設備の需要も拡大しました。世界経済の減速による設備投資の先送りの動きもあり、当期の売上高は前期比では若干減少したものの、下期は売上高の伸長に伴いセグメント利益も回復しました。

また、研究開発においては、近年自動車関連を中心に需要が拡大している金型の大型化ニーズに対応した形彫り放電加工機「AG200L」、食品の原材料の温度調整の適正化及び品質安定化に対応した「粉体冷却装置」をはじめ、市場のニーズに対応した新製品の技術開発にも注力しており、形彫り放電加工機「AG200L」は、日刊工業新聞社主催の「2019年(第62回)十大新製品賞モノづくり賞」を受賞しました。

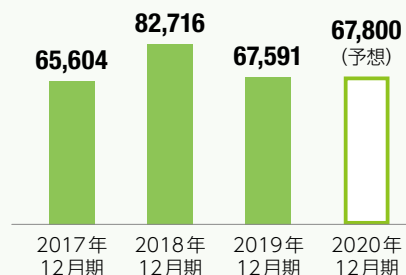
営業活動におきましては、中国国際工作機械展覧会「CIMT2019」、国際食品工業展「FOOMA2019」、欧州国際工作機械見本市「EMO2019」、工作機械展示会「MECT2019」など、世界的な国際見本市をはじめ多数の展示会にて積極的に出展し、ソディックブランドの浸透と拡販に努めました。



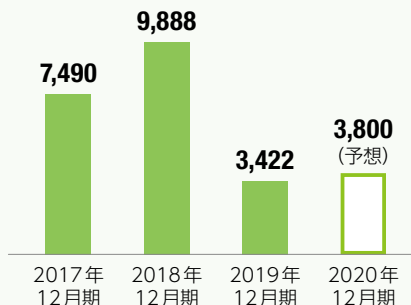
代表取締役社長
古川 健一

連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

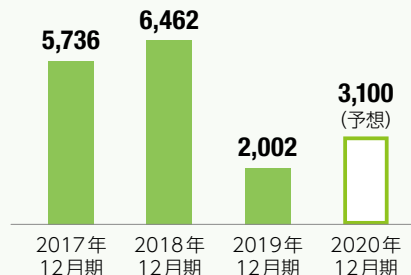
▶ 売上高



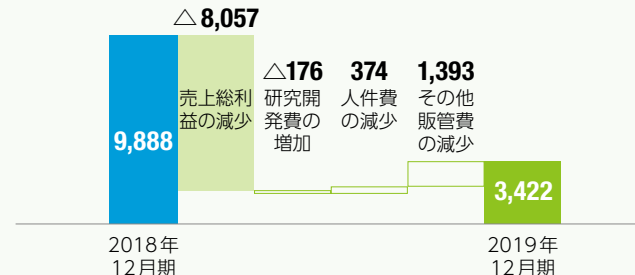
▶ 営業利益



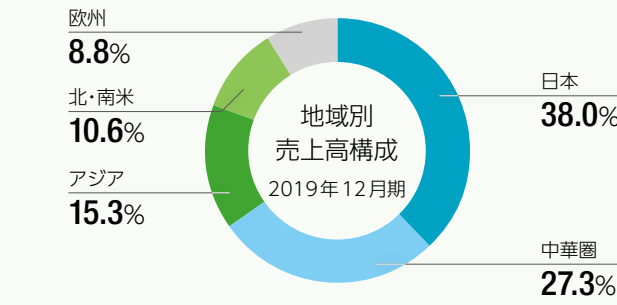
▶ 親会社株主に帰属する当期純利益



▶ 営業利益変動要因



▶ 地域別の売上高構成



※2017年12月期は決算期変更に伴い、9か月の変則決算となっております。

0.2 2020年12月期の業績見通しと中期経営計画について教えてください。

2020年12月期の売上高はほぼ横ばいの見込みですが、2022年12月期までに売上高816億円、営業利益79億円を展望しています。

中長期的にはグローバルにものづくりが発展していく中で、設備投資需要は継続的に拡大していくものと見ています。その中でも、当社の主要な仕向け先である自動車産業においては、自動車の軽量化・電装化ニーズが一層高まっております。加えて、AIやIoTの進展と次世代通信規格「5G」の普及に向けたシステム高度化に伴う設備投資の動きもあり、高精度機の設備投資需要はさらに高まっていくことが予想されます。一方で、新型肺炎の感染拡大、米中貿易摩擦の長期化、中東情勢の緊迫化、東京オリンピック・パラリンピック開催後の日本経済の減速が憂慮されるなど、依然と

して先行き不透明な状況が続くものと思われま

す。このような事業環境の中、当社グループは、2020年12月期は売上高678億円、営業利益38億円を見込んでいます。また、中期経営計画では2022年12月期までに売上高816億円、営業利益79億円を展望しています。

工作機械事業及び産業機械事業では、中国を中心に、ものづくりの高度化による高精度機の潜在的な需要はありますが、米中貿易摩擦の長期化による海外経済の減速により設備投資需要は、低調に推移する見通しです。食品機械事業では、高品質な麺の製造設備のほか、包装米飯製造システムや自動化対応設備などの需要拡大を見込んでいます。特に需要の拡大が見込まれる中国において、販売会社を設立し、当社の強みである茹麺自動化ラインのシェア確保に向け、中国国内の営業体制を強化してまいります。

※2020年12月期以降の計画には新型肺炎感染拡大の影響について反映しておりません。

0.3 株主還元について教えてください。

将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を実施することを基本方針とし、株主資本配当率(DOE)2%以上を目標として考えております。

2019年12月期の1株当たり年間配当は前期比1円増配の25円とさせていただきました。2020年12月期も引き続き、1株当たり25円の年間配当を予定しています。

1株当たり配当金

	2019年12月期	2020年12月期(予想)
中間	12円	12円
期末	13円	13円
年間	25円	25円

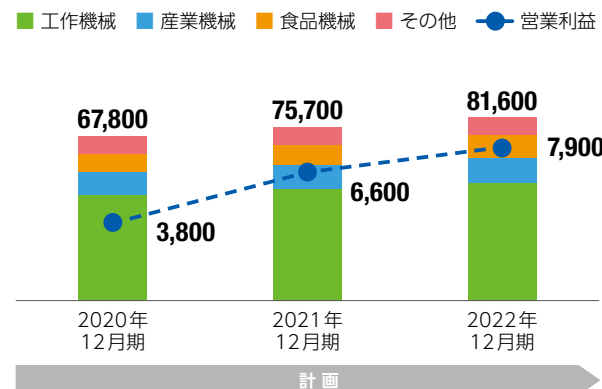
当社グループは引き続き事業環境の変化に迅速に対応しながら持続的な成長を実現するため、足元の課題解決に全力で取り組んでいく所存です。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



中期経営計画

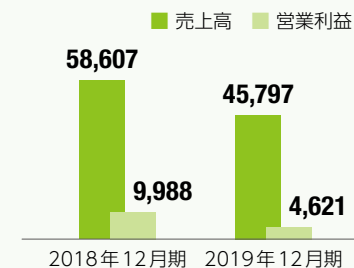
(単位:百万円)



セグメント別の概況 (単位:百万円)

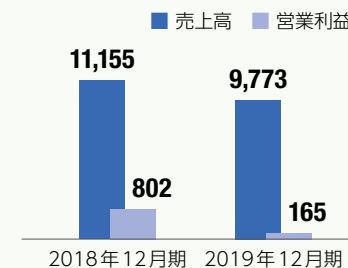
▶ 工作機械事業

放電加工機、マシニングセンタ、金属3Dプリンタ等の開発・製造・販売



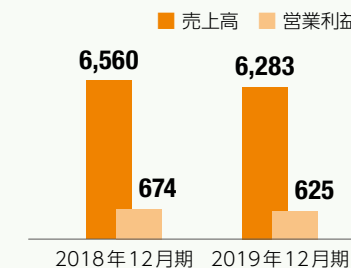
▶ 産業機械事業

射出成形機等の開発・製造・販売



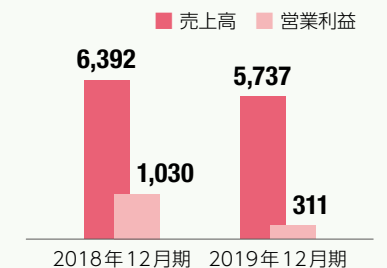
▶ 食品機械事業

麺製造プラント、製麺機、包装米飯製造装置等の食品機械の開発・製造・販売



▶ その他事業

精密コネクタなどの受注生産、リニアモータ、セラミックス部材の販売



シェア拡大をめざす 欧州での取り組み

欧州では地場メーカーのプレゼンスが大きく、当社の欧州でのシェアは、日本や中国ほど高くなく、まだまだ伸びしろのある地域です。今回の特集では、その取り組みの一部をご紹介します。

当社グループは、欧州でのソディックブランド強化を図るべく積極的な営業活動に力を入れています。

国際金属加工見本市 「EMO Hannover 2019」に出展

世界的な工作機械展示会のひとつEMO Hannover (ドイツ・ハノーバー)に出展しました。本展示会は金属加工・工作機械業界にとって、製品の展示だけでなく、商談の場としても重要な意味を持つ展示会です。

当社ブースでは、欧州初出展となるサーボモータ駆動による安定した高精度成形をハイサイクルで実現する電動式模型射出成形機「MS100」をはじめ、ワイヤ放電加工機「AL400P」など最新鋭の機種を展示。世界各国の来場者の関心を集め、多くの引き合いをいただくことができました。

▼ 当社ブース風景



開催概要

会期 2019年9月16日～21日
開催地 ドイツ・ハノーバー
来場者数 約129,000人



世界最大級の プラスチック・ゴム見本市 「Kショー」に出展

開催概要

会期 2019年10月16日～23日
開催地 ドイツ・デュッセルドルフ
来場者数 約225,000人



「Kショー」は、3年に1度、ドイツのデュッセルドルフで開催され、プラスチック・ゴムに関わるあらゆる企業、組織の最先端技術や製品が世界中から集結する国際展示会です。

欧州での成形機の展示会への出展は初めてで、今後注力していく分野のひとつです。

今回、当社のブースでは、高応答射出を搭載した「GL30-LP」を出展し、液晶ポリマーを使ったBoard to Boardコネクタ部品4個取りの成形を実演。微細な部品で、精密成形におけるソディックブランドの優位性を世界にアピールできました。

高級感のあるブースデザインも功を奏し、多くのお客様に会場にいらしたことで、堅型機やシリコン成形機の問い合わせも数多くあり、活況を呈しました。

欧州全域の事業拡大のため 英国テックセンター新設

販売子会社Sodick Europe Ltd. (U.K.) (英国ウェスト・ミッドランズ州ウォリック市)にテックセンターを新設しました。同社の販売エリアはEU全域、ロシア、中東、南アフリカなど広範囲にわたり、欧州全域を統括する重要拠点です。

テックセンターの延床面積は約4,180㎡。放電加工機だけでなく、射出成形機やマシニングセンタを展示しているショールームや金属3Dプリンタ専用の造形ルーム、ミーティングルームを備えており、代理店への教育・支援体制の強化や、顧客サービスの充実を図ってまいります。

このテックセンター新設を機に、欧州での事業展開をさらに加速させ、自動車産業をはじめ、航空宇宙・医療分野へのマーケットシェア拡大、当地における“ソディック”ブランドのイメージ向上を進めてまいります。



Sodick Europe Ltd., Sodick's European HQ
Officially Opened on 10 July, 2019
By Mr. K. Furukawa
President, Sodick Co., Ltd.

◀ オープニングセレモニーでは古川社長によるテープカットが行われました。右は竣工年月日が刻まれた定礎板



ソディックの ESG

当社は、持続的な成長のためにESG(Environment:環境、Social:社会、Governance:ガバナンス)を重視した経営に取り組んでおり、その一環として人材育成、働きがいや働きやすい環境の整備にも注力しています。

社員研修

当社グループでは、社員一人ひとりのモチベーション向上とスキルアップをめざし、各キャリア・各分野に応じた人材研修を実施しています。

9月に開催した研修では、新卒2～4年目の若手社員を対象に社会人としての意識向上を図るプログラムを実施。全国の拠点から53名が参加しました。

講義やグループワークを通し、普段交流の少ない異なる部門の社員同士が活発に意見交換し貴重な機会となりました。

今後もさまざまな研修を企画し、社員の満足度向上に取り組んでまいります。

グループワークのテーマ

- ✔ あらためて社会人の基礎(考え方や成長の方法)を学び、働く目的・目標を立てることで主体的に行動できる状態にする
- ✔ 充実した社会人生活について理解を深め、他責志向から脱却し、高いモチベーションをキープした状態で、前向きに仕事に取り組む状態にする

ダイバーシティ ～女性の活躍～

AE本部 研修部 横浜研修担当
小松 まみ



Q 業務内容について教えてください。

A 研修部ではワイヤ放電加工機、形彫り放電加工機の機械操作スクールをお客様向けに行っており、私はワイヤ放電加工機の初級スクールを担当しています。スクールでは機械の概要や加工方法の説明、NCプログラム作成等を行います。その後、実機を用いて、ワイヤ線のかけ方から実際の加工手順、日常メンテナンス等一通りの作業を実体験でき好評をいただいています。また、スクール以外にも、加工テストや機種検討・ショールーム見学でお越しになるお客様やインターンシップ学生へのご案内も行っています。

Q 仕事でのやりがいは？

A 試行錯誤し加工テストを達成できた時や自身が対応したお客様が機械購入を決めてくださった時とてもやりがいを感じます。ワイヤ放電加工機は水仕様とより高精度が出る油仕様に分けられ、油仕様の使用を検討されるお客様からは難易度の高い加工テストを求められることが多く、仮に要求精度



が±2～3μmである場合でも、機械の使用環境によって、加工精度は変化する可能性もあるため、お客様に満足していただけるよう要求精度以上をめざしていつも取り組んでいます。

Q 目標・キャリアプランを教えてください。

A 現在は、初級スクール講師と加工テストがメインとなっています。加工テストでは、加工条件パラメータや段取り等上司からのアドバイスが必要なことが多々ありますので、今後も沢山の経験を積み、一つひとつ任せさせていただけることを増やしていきたいです。難しい課題にも挑戦することで、お客様のニーズにも応えられ、自分自身の成長にもつながると思っています。

Q お客様から言われて嬉しかったことを教えてください。

A お客様の工場へ伺った際、初めてワイヤ放電加工機を導入されるとのことだったので、操作説明時に詳しく、丁寧に細部までサポートすることを心掛けました。その思いが伝わったのか、「小松さんで良かった」という言葉をいただき、とても嬉しかったです。

Q 執筆された「放電加工入門」はどんな方に読んでもらいたいですか？

A 初めて放電加工機を使われる方にはもちろん、ワイヤ放電加工機を使って1～2年経っている方にも振り返りとして是非読んでいただきたいと思います。

業績・財務ハイライト

当期の業績について

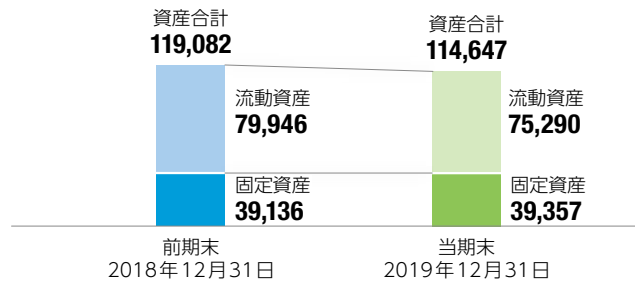
米中貿易摩擦の長期化等の影響により、
主要市場の中国を中心に放電加工機の販売台数が減少。
売上高、営業利益ともに前期を下回る結果となりました。

売上高 **675億91**百万円

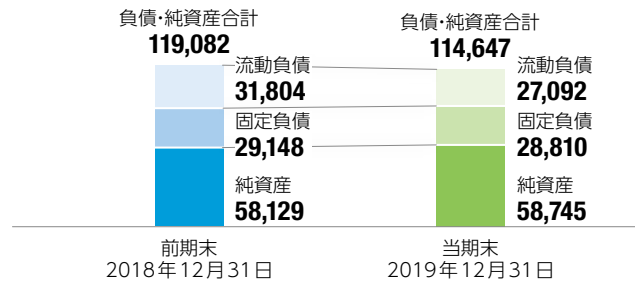
営業利益 **34億22**百万円

連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

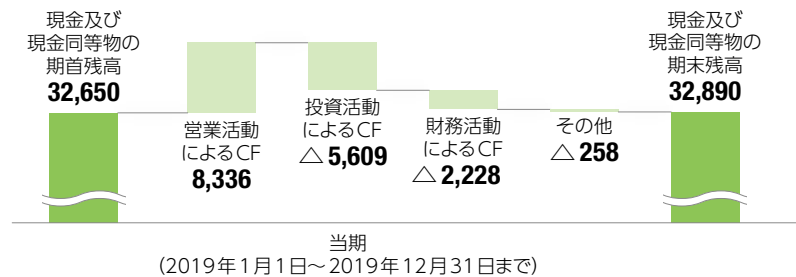
▶ 資産の部



▶ 負債・純資産の部



▶ 連結キャッシュ・フロー(CF)計算書の概要 (単位:百万円)



POINT B/S: ネット有利子負債は47億63百万円(前期末比12億14百万円減少)。売上債権及びたな卸資産の大幅な減少により総資産が前期末比約44億円減少しました。

POINT C/F: 営業CFは、税金等調整前当期純利益、減価償却費等の増加により83億36百万円のプラス。投資CFは、有形固定資産の取得により56億9百万円のマイナス。財務CFは、主に長期借入金の返済と短期借入金の減少により22億28百万円のマイナス。現金及び現金同等物の期末残高は328億90百万円(前期末比2億40百万円増)となりました。

IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など更に詳しい決算情報をご覧いただけます
https://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html

ソディックIR 検索

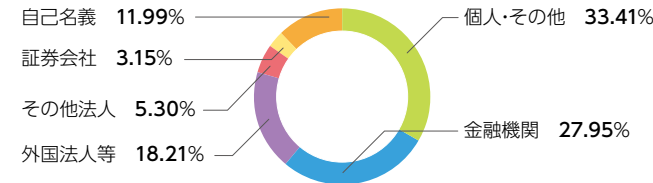


株式情報 (2019年12月31日現在)

株式情報

発行可能株式総数 150,000,000株
発行済株式総数 53,450,916株
株主数 10,831名

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 1月1日~12月31日
株主確定日 ● 定時株主総会、期末配当金:12月31日
● 中間配当金:6月30日

定時株主総会 毎年3月
公告の方法 電子公告により行う
(公告掲載URL) <https://www.sodick.co.jp/ir/f.html>

※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

大株主

株主名	名寄株式数(株)	持株比率(%)
株式会社ソディック	6,407,799	11.99
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	4,353,500	8.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,849,200	5.33
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OMO2 505002	1,237,800	2.32
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,009,300	1.89
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口5)	939,300	1.76
ソディック共栄持株会	934,200	1.75
有限会社ティ・エフ	895,000	1.67
株式会社三井住友銀行	850,000	1.59
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	847,800	1.59

株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
同連絡先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
TEL 0120-288-324 (通話料無料)

特別口座の管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 新東京郵便局私書箱29号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第1部 証券コード:6143

▶ タイ工場「Thailand Energy Awards 2019」入賞



バンコク国際貿易展示場BITECで開催された授賞式にタイ工場の浅野副社長(右端)が壇上に上がり、ソムキット副首相からトロフィーを授与されました

当社グループ最大の生産拠点であるタイ工場では、エンジニアたちがEnergy Saving委員会を結成し、工場全体で電力使用量の削減に取り組んでまいりました。その結果、3年連続で電力使用量を削減したことが評価され、タイ国エネルギー省が国内の環境管理、省エネ活動を表彰する制度である「Thailand Energy Awards 2019」のEnergy Management Team for Designated Factory部門で入賞いたしました。

今後もさらなる消費電力削減をめざし、持続可能な生産活動に取り組んでまいります。